

Vol.223 CONTENTS BRIEFING

～本号記事の概要説明～

協会動向 P3

「2022年度定時総会」開催

昨年、一昨年の定時総会は新型コロナウイルス感染症の流行により、正会員のみの参加で行っていましたが、本年度は3年ぶりに賛助会員の皆様にも参加をいただき、例年通りの開催となりました。主な議案は「2021年度事業報告書」「2022年度事業計画及び収支予算」の報告、「2021年度決算報告書」の承認及び任期満了に伴う役員を選任で、すべて原案通り決議されました。本号には「2021年度事業報告書」「2021年度決算報告書」「2022年度役員体制」を掲載しておりますので、ご確認ください。

「2022年度組織運営体制」

2022年度の組織体制図と各委員会、専門部会、研究会・WGの名簿を掲載しております。本年度は新たな組織として「次世代標準 EDI 検討専門部会」を設置しました。現状、メーカー・卸間の EDI フォーマットは当協会が1987年に制定した「日食協標準 EDI フォーマット」が業界標準として使われておりますが、デジタル技術の進化と必要情報の多様化を踏まえ、次世代におけるメーカー・卸間情報交換のあり方を検討しようとするものです。本年度中に将来のあるべき姿とそれに向けたロードマップを作成すべく、活動を開始しております。その他の委員会、専門部会、研究会・WGについても昨年同様の活動を行うこととしておりますので、委員の皆様には普段の忙しい業務の中での活動となりますが、どうぞよろしく願いいたします。

「支部活動」

支部活動として、本号では6月中に開催された「関東支部定時総会」「中四国支部定時総会」「北海道支部交流会」の報告をします。また関東支部が毎年行っている「物流コスト実態調査」も掲載しておりますので、ご確認ください。

「持続可能な物流の構築」関連テーマ P39

「納品リードタイム延長問題」経緯報告

納品リードタイム延長問題は昨年メーカー・卸間の取組みで大きく進展し、その後小売事業団体の皆さまとも連携を開始し、本年4月に製配販5団体（小売：日本スーパーマーケット協会、全国スーパーマーケット協会、オール日本スーパーマーケット協会、卸：日本加工食品卸協会、メーカー：食品物流未来推進会議）による「フードサプライチェーン・サステナビリティプロジェクト（略称：FSP）」を立ち上げることが出来ました。その会議体の中で、製配販各層がそれぞれ取り組むべき施策を共有し、リードタイム延長の実現に向けた対応を連携して取っていくことを確認しています。小売側への要望としては、①定番発注時間の前倒し、②特売・新商品の納品8日前発注、③納品期限の賞味期間2分の1残しへの統一化、の3点を上げ、その効果に

ついてメーカー・卸側から説明を行っております。

本号では、オール日本スーパーマーケット協会 (AJS) 様の経営トップ研修会の場で、このテーマについて説明の機会をいただきましたので、その時に使用した資料を掲載しました。

加工食品流通業界における「持続可能な物流の構築」はサプライチェーン全体で取り組むテーマであり、今後も製配販3層の連携を深めるべく、活動を行ってまいります。

関係省庁・団体からのお知らせ P67

「令和3年度 食品産業における取引慣行の実態調査」について

例年、一般財団法人食品産業センターによって纏められている「食品産業における取引慣行の実態調査」の令和3年度版が、6月8日公表されました。食品産業センター様よりその概要のご案内をいただきましたので、その内容を掲載しました。報告書の全文は、食品産業センター HP で公開されていますので、ご覧ください。

会報に関するご意見、ご指摘がございましたら、協会事務局までお寄せください。
(nsk-nhk@nifty.com) 皆さまの声を会報編集の参考にさせていただきます。